

ニコニコ動画のコメントにおける笑いを表現するネットスラングの分析

Analysis of Net Slang Expressing laugh at Comments on Nico Nico Douga

青柳志織^{*1}
Shiori Aoyagi川合康央^{*2}
Yasuo Kawai^{*1} 文教大学 情報学研究科

Graduate School of Information and Communications, Bunkyo University

Abstract: Internet communication is developed day by day in the information society. Among these communications, the Internet's own slang called "net slang" is often used. In this research, we focused on net slang expressing laugh in net slang and aimed to clarify whether their meaning usage is the same. By comparing net slang, we found that the type of laugh and the subject of laugh tend to be different in each slang.

1. はじめに

現在、スマートフォンや PC の普及により、様々な世代の人々がインターネットを生活の一部として活用している。それに伴いインターネット上で書記言語を用いたテキストコミュニケーションが日々盛んに行われている。近年では、Skype や Discord を代表とする無料通話アプリケーションやボイスチャット等による音声コミュニケーションも可能となってきたが、現在でもテキストコミュニケーションの場は大いに活用されている。5ちゃんねる(旧:2ちゃんねる)や爆サイ.com といった大型電子掲示板, LINE などのテキストチャット, twitter や Facebook といった身の回りのニュースを発信し、コミュニケーションを交わすことができる SNS, コンテンツに関する評価や意見交換をすることが可能な YouTube やニコニコ動画が代表とされる動画共有サービスなど、テキストを用いたコミュニケーションを行う情報サービスは多く存在し、趣味の発信や娯楽、連絡手段など、生活の一部として、多くの人々に活用されている。

これらのテキストコミュニケーションの中では、“ネットスラング”と呼ばれるインターネット独自の俗語がしばしば用いられている。ネットスラングは様々なきっかけで生まれ、人々の間で流行し、インターネットならではの表現として定着し、また衰退していく。インターネットにおけるコミュニケーションが盛んな現代において、ネットスラングは新たな言葉の創造の場としての役割を担っていると考えられる。また、ネットスラングの変遷からインターネットコミュニケーションにおいて人々が何を求めているのかを観察したいと考えている。本稿では、ネットスラングの中でも笑いを表現するネットスラングについて注目する。

2. 笑いを表現するネットスラング

テキストコミュニケーションにおいて文に笑いの要素を付加するネットスラングを、笑いを表現するネットスラングとする。本稿では「笑」の漢字を含む「(笑)」を代表とし、その派生形である「w」、「草」を対象とした。対象のスラングを使ったものは以下のような例がみられる。「(笑)」, 「w」については「現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)」で、「草」については「ニコニココメント等データ」から引用した

- (1)今日はクリスマスという事で…アキバに行ってきます(笑)
(BCCWJ 2008)
- (2)ワタシも笑っちゃいましたわwww
(BCCWJ 2005)
- (3)本番のハードル上がりまくってて草生える
(NII 18)

以上のように「(笑)」, 「w」は記号のように用いられ、「草」は普通名詞と変わらない用いられ方をしている。SNS やブログサイトを対象とした「w」に関する意味用法の研究を行った岩崎らによると、「w」には書き手が文章の内容が笑いを生じさせるものであることを示し、その笑いにも自嘲的な笑いや皮肉的な笑い、苦笑、微笑などさまざまな笑いを示しているとされている[Iwasaki 17]。本研究では、「笑い」から派生したこれらのネットスラングの意味用法が本当に同じなのかを明らかにすることを目的とした。

3. 研究方法

3.1 調査対象

本研究では調査対象を「ドワンゴ」が提供している動画共有サービス「ニコニコ動画」のコメントを調査の対象にした。「ニコニコ動画」は 2006 年にサービスが開始され、ユーザが動画上にリアルタイムでコメントを書き込める独自のシステムが人気を集めている。インターネットの普及から、「5ちゃんねる(旧2ちゃんねる)」などの大型電子掲示板サイトや、「あやしいわーど」に代表されるアンダーグラウンドサイトでは、多くのネットスラングが生み出されてきた。「ニコニコ動画」にはこれらのネットスラングが多く流入され、現在のサブカルチャー界隈の文化を築いている。多くのネットスラングの使用例が抽出できると考えられる。コメントデータは国立情報学研究所のダウンロードサービスにより株式会社ドワンゴから提供を受けた「ニコニコ動画コメント等データ」を利用している。

3.2 データの収集方法

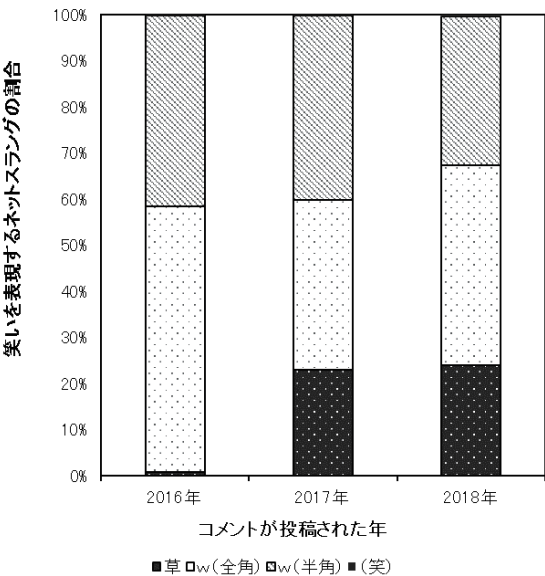
2016 年から 2018 年までの 6 月の月間総合ランキング上位 10 位までの動画を対象とし、期間は「ニコニコ動画」の月間コメントの期間に合わせ、毎年 5 月 1 日(AM6:00)から 6 月 1 日(AM5:59)までに設定し、その間に投稿されたコメントを抽出した。カテゴリはすべてのカテゴリが対象のカテゴリ合算に設定し

た. 2018 年に関しては, 月間総合ランキング 2 位動画のコメントデータが大きすぎたため期間中のコメントを抽出することができなかった. そのため, 2 位を除いた 1 位から 11 位までの 10 個の動画を対象とした. さらに, 「(笑)」, 「w(全角)」, 「w(半角)」, 「草」の含まれるコメントのみを抽出したデータを各年用意した. ただし「w」には複数個並べて笑いの度合いを強くする使用法がある. 「w」を並べる数に際限がないため, 分析作業を考慮し「w(全角)」, 「w(半角)」に共通して4つ以上「w」が並ぶ場合, 「w」の数の上限を3つまでに設定した. また, 「草」や「w」を含む「草履」や「GW(ゴールデンウィーク)」などの笑いを表現するネットスラングとして機能していない単語が含まれたコメントに関しては文脈から確認し, 除外した.

表 1 データ収集の結果

	期間中抽出されたコメント		対象のスラングが含まれたコメント			
	期間中抽出されたコメントの合計	対象のスラングが含まれたコメント	草	w(全角)	w(半角)	(笑)
2016年	150,923	53,821	403	31,057	22,252	109
2017年	405,018	34,094	7,822	12,607	13,599	66
2018年	46,595	9,064	2,168	3,936	2,934	26

表 2 データの割合



データ収集によって以上のデータセットが作成された(表 1). 表 2 は対象の笑いを表現するネットスラングが含まれたコメントの, スラングごとの内訳を表したものである. 2018 年は抽出できたコメント数が非常に少なくなった. 2 位の動画のコメントが抽出できなかったことと, 9 位, 11 位の動画コメント数が非常に少なかったことが理由と考えられる. 「w(全角)」, 「w(半角)」を含むコメントはどの年でも多く抽出された. 「草」を含むコメントの割合が多く見られるようになったのは 2017 年からである. 「(笑)」に関してはどの年においても出現数はかなり少なかった. 笑いを表現するネットスラングの比較には収集できたデータが多く, 「草」を含むコメントの割合が増えた 2017 年のデータを使用する. 本研究ではユーザーローカル テキストマイニングツールを利用して分析をおこなう. ユーザーローカルの「2つの文章を比較」機能を使用し, 特徴的な単語を抽出し, 各笑いを表現するネットスラングの特色を調べる.

4. 結果

4.1 分析 1 「w」同士の比較

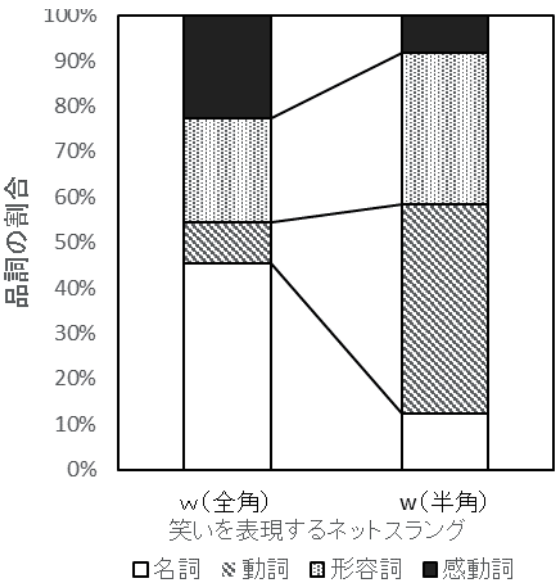
「w(全角)」と「w(半角)」の比較をおこなった. コメントから抽出された単語の意味がどれだけポジティブ・ネガティブであるか

の比較マップ(以下, ユーザーローカルでの名称に合わせ「ネガポジマップ」とする)においては大きな差は出なかった. 表3は「w(全角)」と「w(半角)」のデータに出現する単語を, それぞれどちらのデータに偏って出現しているか(以下, 「単語分類」とする)で, グループ化した表である. 個別の単語に傾向は見られないが, 「w(全角)」には名詞, 感動詞が, 「w(半角)」には動詞, 形容詞が多く抽出された(表 4). 岩崎らの研究では名詞につく「w」は単純な笑いと皮肉な笑いを示し, 感動詞につく「w」は単純な笑いを示す. また動詞につく場合, 自嘲や自虐的な笑いを示し, 形容詞においては他者への嘲笑が多いとされている. 本研究では「w」が付与された単語ではなく, 「w」が含まれるコメントの中から抽出された単語のため条件は異なるが, 「w(全角)」は単純な笑いを示すとき, 「w(半角)」は嘲笑的な笑いを示すときに多く使われているといえるだろう.

表 3 「w(全角)」と「w(半角)」の単語分類

全角w	w(半角)
OrGA(名詞)	ウツホホホーホホwww(名詞)
動画(名詞)	草(名詞)
LUCIFER(名詞)	100万(名詞)
編集(名詞)	過ぎる(動詞)
ナターリア(名詞)	知る(動詞)
ちゃん(名詞)	聞こえる(動詞)
二次会(名詞)	ふく(動詞)
グラードン(名詞)	分かる(動詞)
うめ(名詞)	くう(動詞)
グレーブ(名詞)	使う(動詞)
でる(動詞)	がる(動詞)
避ける(動詞)	持つ(動詞)
こわい(形容詞)	聞く(動詞)
こい(形容詞)	釣る(動詞)
でかい(形容詞)	早い(形容詞)
長い(形容詞)	くろい(形容詞)
ずるい(形容詞)	少ない(形容詞)
ありがとう(感動詞)	高い(形容詞)
あかん(感動詞)	酷い(形容詞)
お疲れ様(感動詞)	かつこよい(形容詞)
すまん(感動詞)	わるい(形容詞)
いやー(感動詞)	嬉しい(形容詞)
	うわー(感動詞)
	なんてこった(感動詞)

表 4 「w(全角)」と「w(半角)」の単語分類結果の割合



4.2 分析2 「草」と「w」の比較

分析2では笑いを表現するネットスラングの中でも 2017 年から多く出現するようになった「草」とどの年においても多く出現された「w」の比較をおこなった。「w」の中でも 2017 年により多くデータが抽出できた「w(半角)」を対象とする。ネガポジマップでは「草」寄りの単語はネガティブが 7 単語、ポジティブが 3 単語であり、「w(半角)」寄りの単語はネガティブが 21 単語、ポジティブが 6 単語であった(図 1)。ネガティブ:ポジティブの比が「草」は 7:3、「w(半角)」では 7:2 で「w(半角)」の方がポジティブな単語の割合が低かった。また、「草」においては「草」自体や、「草生える」など「草」と共に使用される語が抽出されている。「草」自体がネガティブ寄りのものと認識されていると考えられる。「w(半角)」においては「w(半角)」自体がネガティブであるわけではなくネガティブな単語と共に現れるケースが多く見られた。

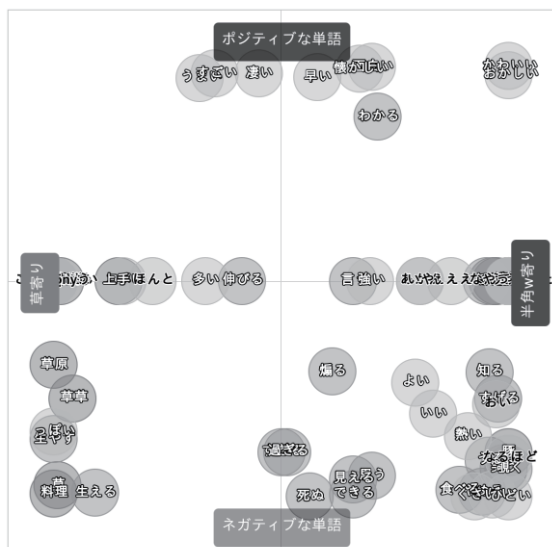


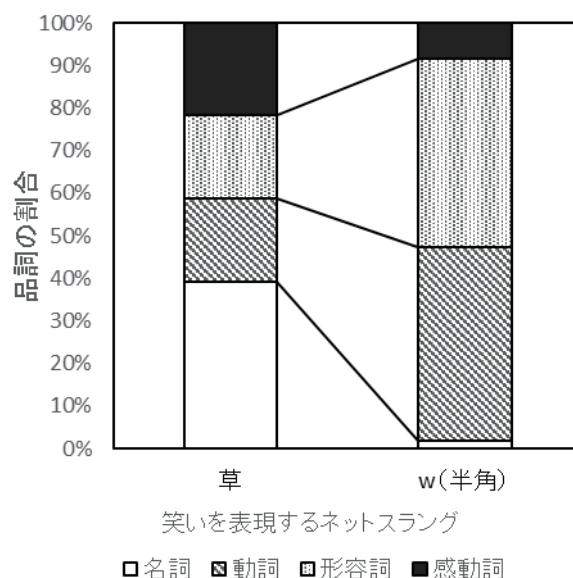
図1 「草」と「w (半角)」のネガポジマップ

表5「草」と「w（半角）」の単語分類

草		w(半角)	
草(名詞)	多い(形容詞)	w(名詞)	いい(形容詞)
コム(名詞)	うまい(形容詞)		面白い(形容詞)
職人(名詞)	上手い(形容詞)	やめる(動詞)	熱い(形容詞)
普通(名詞)	思い(形容詞)	言う(動詞)	やばい(形容詞)
OrGA(名詞)	くろい(形容詞)	知る(動詞)	くさい(形容詞)
顔(名詞)	っぽい(形容詞)	ずげる(動詞)	懐かしい(形容詞)
流石(名詞)	やすい(形容詞)	食べる(動詞)	よい(形容詞)
動画(名詞)	貴い(形容詞)	思う(動詞)	強い(形容詞)
声(名詞)	新しい(形容詞)	わかる(動詞)	良い(形容詞)
タグ(名詞)		できる(動詞)	怖い(形容詞)
若干(名詞)		見える(動詞)	わるい(形容詞)
草原(名詞)	ほんと(感動詞)	うる(動詞)	若い(形容詞)
ライ(名詞)	ありがとう(感動詞)	とる(動詞)	かっこいい(形容詞)
ルンファ(名詞)	お疲れ様(感動詞)	いく(動詞)	かわいい(形容詞)
NAVI(名詞)	わーい(感動詞)	とく(動詞)	長い(形容詞)
料理(名詞)	ごめんなさい(感動詞)	聞こえる(動詞)	おかしい(形容詞)
LUCIFER(名詞)	kq(感動詞)	笑う(動詞)	おもろい(形容詞)
まみれ(名詞)	お疲れさま(感動詞)	暇く(動詞)	ひどい(形容詞)
	すごーい(感動詞)	ひく(動詞)	あつひ(形容詞)
	おめでとー(感動詞)	きつける(動詞)	優しい(形容詞)
	anthony(感動詞)	いける(動詞)	おおい(形容詞)
生える(動詞)		あむ(動詞)	黒い(形容詞)
増える(動詞)		泣ける(動詞)	大人しい(形容詞)
まくる(動詞)		踊れる(動詞)	すっぱい(形容詞)
泣く(動詞)		しとる(動詞)	となつかしい(形容詞)
生やす(動詞)		しらむ(動詞)	こわい(形容詞)
散らかす(動詞)		乗る(動詞)	おい(感動詞)
湧く(動詞)		諦める(動詞)	えええ(感動詞)
沸く(動詞)		乗り上げる(動詞)	すまん(感動詞)
踊る(動詞)			うう(感動詞)
			なんてこった(感動詞)

単語分類においては、「草」では名詞，感動詞が，「w(半角)」では形容詞，動詞が多く出現した(表 5, 6)。「草」と「w(全角)」を比較した場合においても「草」の含まれるコメントのほうが名詞，「w(全角)」では形容詞が多く出現する傾向がみられた。「草」は笑いの対象が名詞である際に用いられ，「w(半角)」は名詞そのものを笑いの対象にするよりは，行為や状態が笑いの対象である場合に多く用いられるものと思われる。

表6 「草」と「w（半角）」の単語分類結果の割合



4.3 分析3 「(笑)」について

「(笑)」について収集できたデータ数が非常に少なく他の笑いを表現するネットスラングとの比較が難しかった。「(笑)」が含まれたコメントの抽出数は年々減少しており、使用されなくなりつつあるネットスラングであるのかもしれない。「草」は普通名詞のように使用するため他の笑いを表現するネットスラングと使用方法が異なっているが、「(笑)」と「w」は文末に記号のようにつけるなど使用方法が似ている。「w」が含まれるコメントが多く抽出されることから「w」を使うのが主流と思われる。「(笑)」が含まれるコメントを見ていくと以下のような名詞に直に付与されているものがあつた。

(4) ユーチューバー(笑)とかいうクソどもと比べ物にならんくらいおもろいわ

(NII 18)

(5)ちゃんと書いてあったろ？同じ番組のナレーター(笑)って

(NII 18)

これらは「(笑)」が付与された名詞を嘲笑する意味合いで使われていた。ミーハーな女性の別称に使われる「スイーツ(笑)」というネットスラングがある[Kindaichi 09]。上記のコメントはこのスラングを真似た用法と思われる。「スイーツ(笑)」や、「ま～ん(笑)」など、「(笑)」には蔑称として使われる例があるため、「(笑)」は付与された名詞を侮蔑する役割として使用されていると考えられる。

5. まとめ

本研究では笑いを表現するネットスラング、「w(全角)」、「w(半角)」、「草」、「(笑)」の比較をおこない、意味用法が同じなのかを明らかにすることを目的とした。ニコニコ動画のランキング上位の動画のコメントを抽出し、笑いを表現するネットスラングの含まれるデータを用意し、ユーザーローカルテキストマイニングを使用して分析をおこなった。「w(全角)」は単純な笑いを、「w(半角)」は嘲笑的な笑いに使用される傾向があった。また多く抽出された「草」と「w」の比較においては、「草」は「草」自体がネガティブな単語とされ、「w(半角)」はネガティブな単語が含まれるコメントに出現する傾向が表れた。また単語分類の結果から笑いを表現するネットスラングによってコメント内に出現する品詞が異なることがわかった。笑いの対象が何かによって使用されるネットスラングが変わると考えられる。

本研究で対象とした笑いを表現するネットスラングは全般的にネガティブな意味や嘲笑、侮蔑的な笑いとして用いられている傾向があった。インターネットコミュニケーションの場においての笑いは嘲笑や批判的なものが多いと言えるのではないだろうか。

参考文献

- [Iwasaki 17]岩崎 真梨子, 前田 梨沙, 川島 大樹: 若者が着目するインターネット上の表現—ネットスラングと方言, 八戸工業大学紀要, 36 巻, pp. 41-56, 2017.
- [Kindaichi 09]金田一「乙」彦: オタク語辞典, 美術出版, 2009.
- [BCCWJ]国立国語研究所: KOTONOHA「日本語書き言葉均衡コーパス」少納言, <http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/>
- [NII 18] 国立情報学研究所: ニコニコ動画コメント等データ, 2018.
- [User Local] ユーザーローカル: テキストマイニングツール, <https://textmining.userlocal.jp/>